

自作スピーカー「湯円(タンユエン)」

製作 赤



また懲りずにエンクロージャーに植木鉢を使うつもりで、たまたま球形の植木鉢があったので陶器と漆喰でやれば面白いかと勘で決定。

球は内部が曲面で構成されているため回折音による特性の乱れが少ない事、陶器や漆喰は多孔質材料として高域の吸音に優れ、スピーカーに使う事で定位の良さと低域の広がりが期待できる。

エンクロージャー容量 : 7.8L

スピーカーユニット

Visaton 10cm同軸型フルレンジ PX10HF

ピエゾツイーターと10cmPPコーンウーファースの同軸フルレンジ

インピーダンス : 4Ω

再生周波数 : 70Hz ~ 13kHz

出力音圧レベル : 85dB

フロントバッフル フロントバッフル

積層ベニアボード 厚さ9mm × 直径170mm

バフレスポート

前作と同じく、植木鉢の底面排水口を利用して、サランラップの芯を切った物を底面内部に接着。

ポートからの低音を下向きに設置面に当てて拡散させるために、ヒノキの枡を半分に切ったものを底面外部に接着。枡はスピーカー端子設置部分ともなる。

吸音材

陶器の響きを抑えるために、フェキ糊を内面全体に薄く塗布。綿を植木鉢の内部底面部分とバフレス管にかかるとように糊で接着。

植木鉢内部側面のユニット付近は市松模様のように吸音材を接着。

